



千地申第15号

「新たなジョブローテーションの実施について」 で組合員が働きがいを実感し成長できる制度 にするための緊急申し入れを提出！

「新たなジョブローテーションの実施について」(以下、「新たなジョブローテーション」という)が実施されて以降、施策に対して様々な問題が発生するたびに労使で議論し、多くの課題克服のために認識を一致させてきました。

しかし現場では、事象に関係のない言動をしたり、課題にあるコミュニケーションが十分に取れず、不安に寄り添う意識に変化していない管理者が未だに見受けられ、立て続けに簡易苦情処理が提出されている現実もあります。

職場からも「本人のキャリアプランに沿わない異動はモチベーションの低下を招き、生産性向上にも繋がらない」と多くの声が寄せられています。私たちは、会社の発展と組合員・社員、家族の幸せを実現することは、労使共通の課題として、「新たなジョブローテーション」施策に向き合い、自分自身の成長とモチベーションの向上や生活設計を含めてキャリアプランを考えています。

地本は、「新たなジョブローテーション」を不安なく担い、本人のモチベーションと生産性が向上し、JR東日本を発展させていく為に、緊急に下記の通り申し入れを行い、速やかに団体交渉を行います。

《要求項目》

1. 「新たなジョブローテーション」の異動が本人のオーダーメイドのキャリアプランになっていない事から、コミュニケーションをしっかりと取り、本人が納得できる異動にすること。また、チャレンジして成長しようとする組合員に対して、管理者の言動が支配介入ととれる事象があるため、事実関係を調査し、厳正に対処して再発防止に努めること。